

| 基本情報 | | | | | | |
|--------------|-----------------------|----------------------|---|--|------------|---------------------------------|
| 教科・科目 | | 数学・数学Ⅲ（標準） | | ・授業で使用するもの ・教科書（数学B） ・ノート | | |
| 担当者 | | 沢田 陽宏 | | | | |
| 評価割合（試験：試験外） | | 試験： 6 試験外：4 | | | | |
| 年間を通じて教科で培う力 | | 鍛錬（知識及び技能） | | 具体的な事柄や事象についてモデル化する、一般化する、批判的に捉えるなど、事象を数学的に解釈し、数学的に表現、処理する力を培う。また、多様な事象を数学的に表現・処理するために必要な式の計算の仕組みや関数、図形の性質等についての理解を深める。 | | |
| | | 理知（思考力・判断力・表現力等） | | 直観や論理的な思考をもとに、事象を定義化したり定理を導いたりしながら課題の解決を図るとともに、多様な考え方について論理的整合性について議論し、その正誤について知的なコミュニケーションを通して受け入れることができる。 | | |
| | | 探究・観智（主体的に学習に取り組む態度） | | 社会での数学の役割に気づく、数学的な思考のよさを実感することを通して、数学の学習の意義を高めながら、自身で課題設定を行い、主体的に学習する態度を養う。 | | |
| 学習情報 | | | | | | |
| 月 | 回 | 単元名 | 単元目標（到達状態） | 学習内容 | 活動内容 | 評価方法・ポイント |
| 4 | 8 | 確率分布 | ・確率変数の分布を描写し、期待値、分散を計算する。 ・ある確率変数の線形変換である確率変数を計算することで、確率変数の期待値の線形性や分散の持つ性質を発見し、証明する。 ・2つの確率変数が独立であるか、定義に従って確認し、さらに独立な2つの確率変数にのみ成立する性質を理解する。 | ・試行回数の多い確率分布を連続関数で近似することの良さを知り、正規分布関数の面積を計算する。 ・母集団が正規分布である標本の平均の性質を発見し、証明する。 ・標本平均や標本比率から母集団の平均や比率の信頼区間を導出し、母平均や母比率に関する仮説検定が実行する。 | ・講義 ・演習 | ・講義 ・演習 ・小テスト ・添削課題 |
| 5 | 12 | 統計的な推測 | 正規分布曲線を用いて、標本から母集団の平均や比率を推測できる。 | ・試行回数の多い確率分布を連続関数で近似することの良さを知り、正規分布関数の面積を計算する。 ・母集団が正規分布である標本の平均の性質を発見し、証明する。 ・標本平均や標本比率から母集団の平均や比率の信頼区間を導出し、母平均や母比率に関する仮説検定が実行する。 | ・講義 ・演習 | ・講義 ・演習 ・小テスト ・添削課題 |
| 6 | 定期試験① 令和7年 6月2日～6月4日 | | | | | |
| | 12 | 入試問題演習（数学ⅠAⅡB） | ・取り組んだ問題について、問題の要点に気づき、同様の問題を解けるように復習することができる。 | ・取り組んだ問題の解説を読み、自身が理解できていなかったことは何なのか、をハッキリさせる。 ・採点者に意図が伝わるように、論理的に飛躍がない記述答案を作成する。 | ・講義 ・演習 | ・講義 ・演習 ・演習の記述指導 ・小テスト |
| 7 | 定期試験② 令和7年 7月9日～7月11日 | | | | | |
| 7～1 | 68 | 入試問題演習（数学ⅠAⅡB） | ・取り組んだ問題について、問題の要点に気づき、同様の問題を解けるように復習することができる。 | ・取り組んだ問題の解説を読み、自身が理解できていなかったことは何なのか、をハッキリさせる。 ・採点者に意図が伝わるように、論理的に飛躍がない記述答案を作成する。 | ・講義 ・演習 | ・講義 ・演習 ・演習の記述指導 ・小テスト |